ご使用のしおり　取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書を十分お読みください。
この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに保管してください。

安全にご使用いただくために

このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守ってください。
このミシンは、日本国内向け家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

⚠警告　感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いてください。
   - ・ミシンのそばを離れるとき
   - ・ミシンを使用したあと
   - ・ミシン使用中に停電したとき

⚠注意　感電、火災、けがの原因となります。

1. お客様自身での分解、改造はしないでください。
2. ミシンの操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。
3. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
4. 曲がった針はご使用にならないでください。
5. ぬいの途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
6. 針、及び押さえは確実に固定してください。
   又、押さえはぬいに合ったものをご使用ください。
7. お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
8. 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
   - ・針、針板、押さえ、アタッチメントを交換するとき
   - ・上糸、下糸をセットするとき
   - ・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください）
   - ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9. ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止しお近くの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
   - ・正常に作動しないとき
   - ・落下などにより破損したとき
   - ・水に濡れたとき
   - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
   - ・異常な臭い、音がするとき
10. 電源プラグを取扱うときには、以下の点に注意してください。
    - ・コンセントから抜くときは、必ずプラグを手で持って抜いてください。
    - ・濡れた手で使用しないでください。

●各部のなまえ

天びん
糸巻き軸
糸調子ダイヤル
糸切り
糸通し
模様表示窓
スピードコントロールつまみ
返しぬいレバー
スタート・ストップボタン
針板
角板開放ボタン
角板
補助テーブル
はずみ車
押さえ上げ
模様選択ダイヤル
電源スイッチ
プラグ受け
電源コード

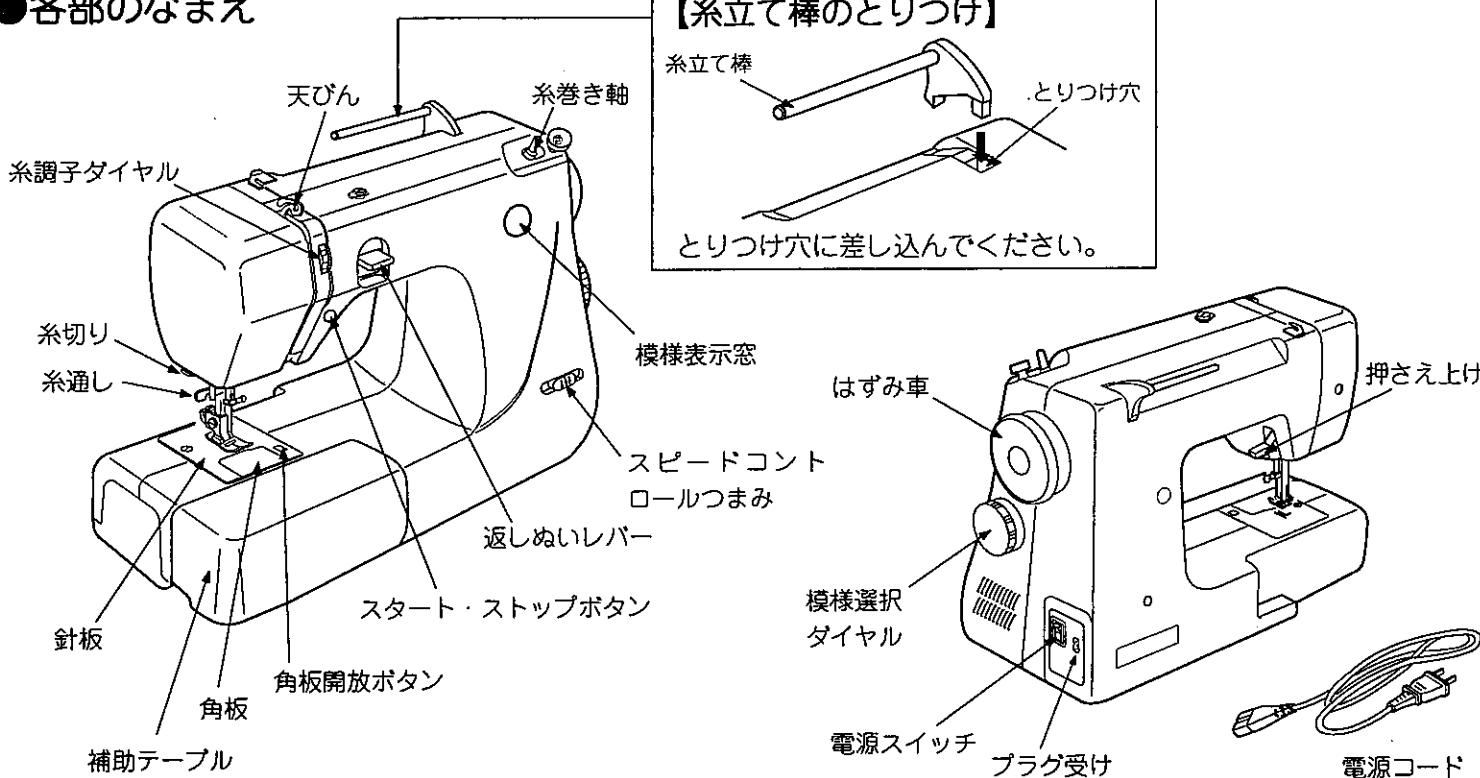
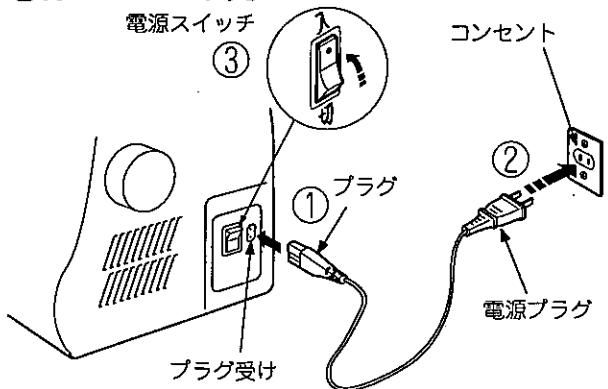
【糸立て棒のとりつけ】

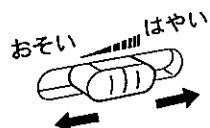
糸立て棒
とりつけ穴
とりつけ穴に差し込んでください。

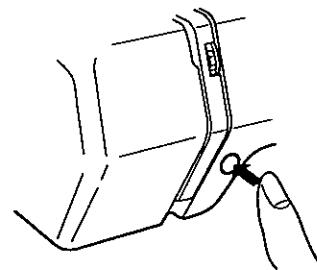
●標準付属品……補助テーブルに収納されています。

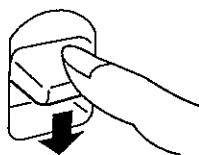
ボビン　針　目ほどき　ドライバー　たち目かがり押さえ　ボタンホール押さえ　糸こま押さえ　糸立て棒

●電源のつなぎ方

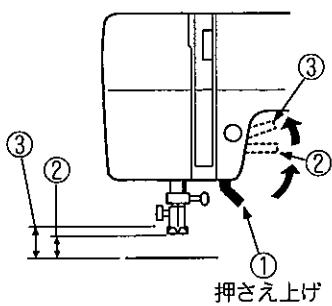
電源スイッチ ③ 入 切
コンセント
② ① プラグ
電源プラグ
プラグ受け

①電源スイッチを切ってから、プラグをプラグ受けに差し込みます。
②電源プラグをコンセントに差し込みます。
③電源スイッチを入れます。
※電源は一般家庭用（100V 50/60Hz)です
※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

●スピードの調節

ぬう速さは自由にセットできますので、スピードコントロールつまみを、お好みの速さにセットしてください。

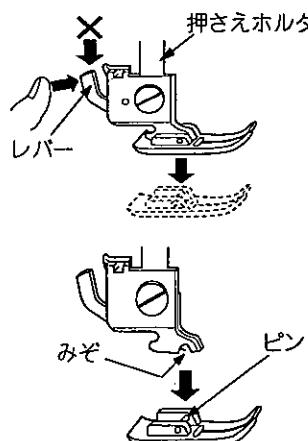
●スタート・ストップボタン

ボタンを押すと、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。
もう一度ボタンを押すと、停止します。

●返しぬいレバー

【停止中の返しぬい】
ミシンが動いていない状態で返しぬいレバーを押すと、低速で返しぬいをはじめ、指をはなすと止まります。

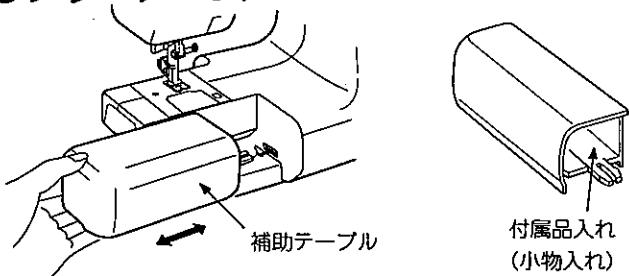
【運転中の返しぬい】
ミシンが動いている状態で返しぬいレバーを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

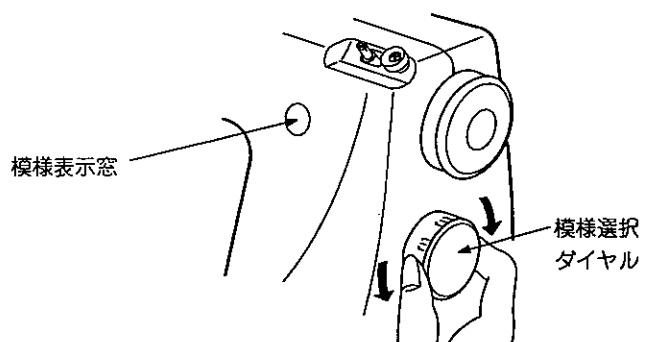
●押さえ上げ

①さげた位置
（ぬいのときにはさげておきます。)
②普通にあげた位置
（布の取り出しや、押さえの交換のときにあげます。)
③さらにあげた位置
（補助リフトで、布が入れやすくなります。)

押さえ上げで押さえの上げ下げをします。
押さえを普通にあげた位置よりさらに高くあげると、押さえはさらにあがります。

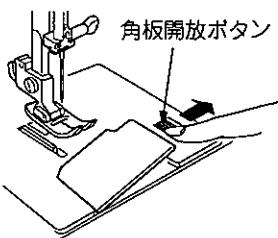
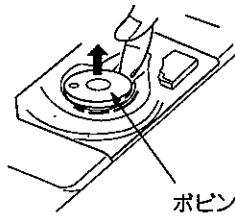
●押さえの交換

①押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを押してはずします。
※レバーを押すときは、図の位置を矢印方向に押してください。上から押すと故障の原因になります。

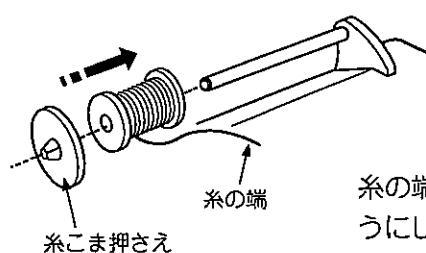
②押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにおろします。

●フリーアーム

補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。
補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

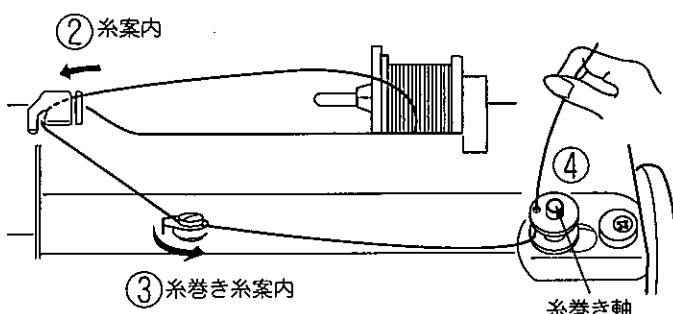
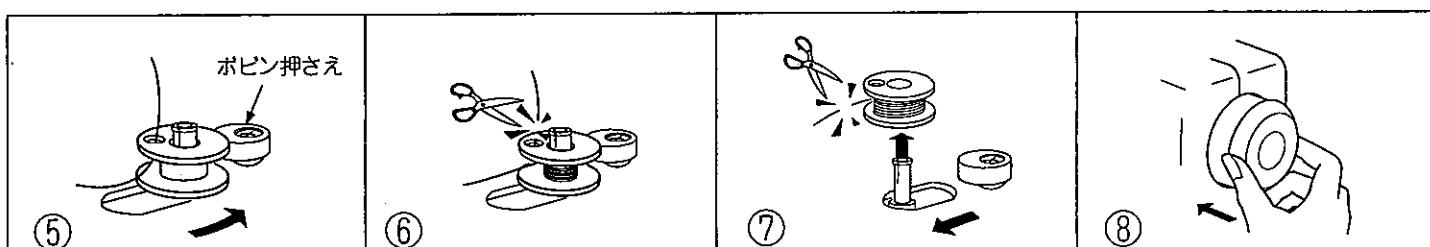
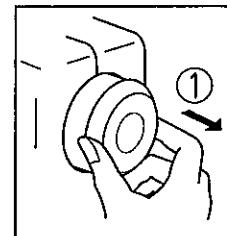
●模様の選び方

針をあげて模様選択ダイヤルを回し、模様を選びます。
※針が布に刺さったままで模様選択ダイヤルを回すと、針が曲がったり折れたりする原因になります。

●下糸の準備

★ボビンのとりだし

①角板開放ボタンを右に寄せて、角板をはずします。

②ボビンをとり出します。

★糸こまのセット

糸の端が下から手前に出るようにして糸こまを糸立て棒に入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

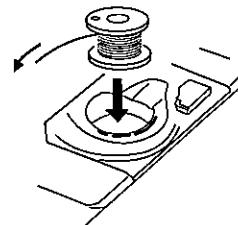
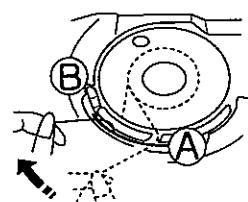
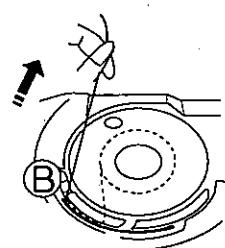
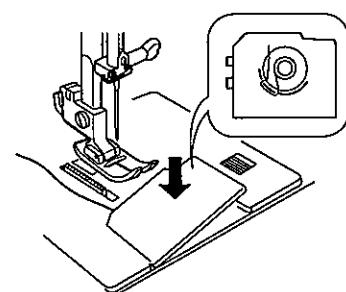
★ボビンに糸を巻く

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。
※ボビンは、ジャノメ専用ボビンをご使用ください。

①はずみ車を引き出します。
②糸案内に掛けます。
③糸巻き糸案内に掛けます。
④ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

⑤ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

⑥糸の端をつまんだままミシンをスタートしてボビンに糸が二重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。

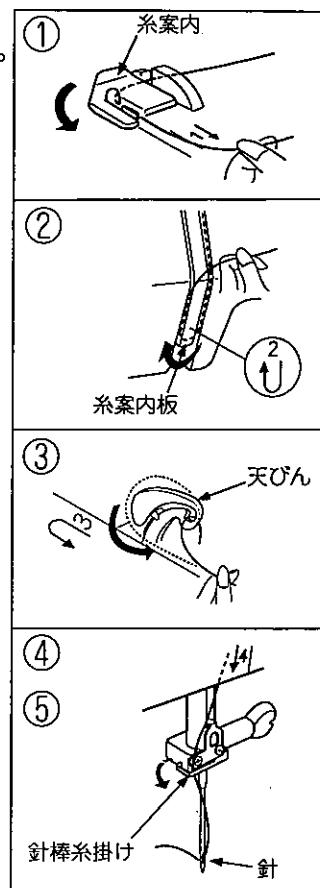
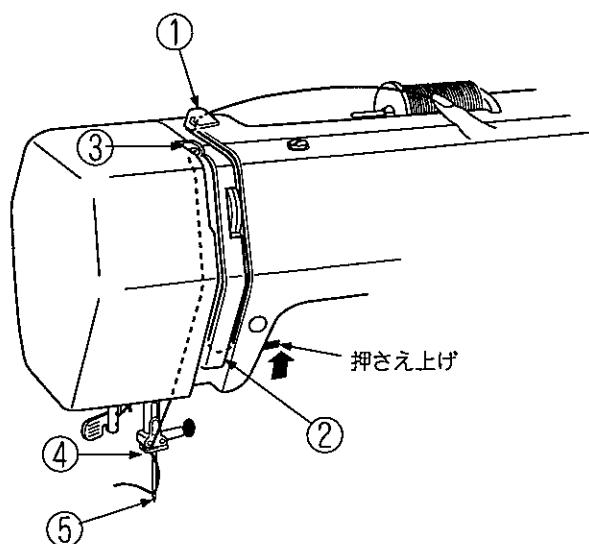
⑦再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸を戻し、ボビンを糸巻き軸よりはずします。

⑧はずみ車を元の位置（押し込む）に戻します。

★ボビンのセット

①糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

②糸の端を引きながら、手前のみぞ（A）に掛けます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞ（B）のところに出します。

③糸を左側のみぞ（B）に掛けるように、向こう側に出します。

④下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側からあわせて、つけます。

●上糸の準備

★上糸の掛け方

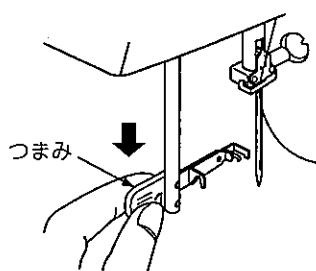
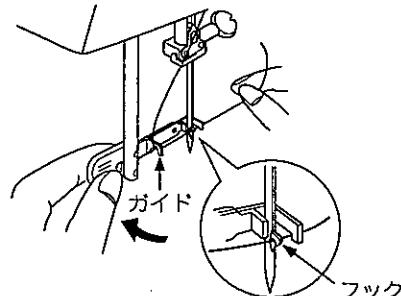
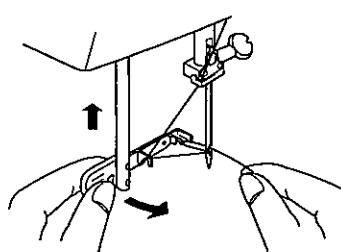
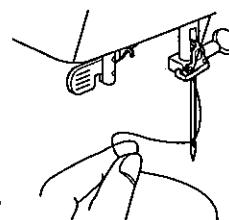
※糸こまを押さえながら正しく糸を掛けてください。

①押さえ上げをあげ、糸を糸案内に向こう側から掛け、みぞにそって手前に糸を引き出します。

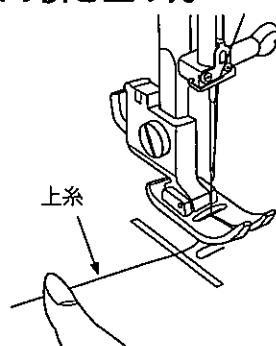
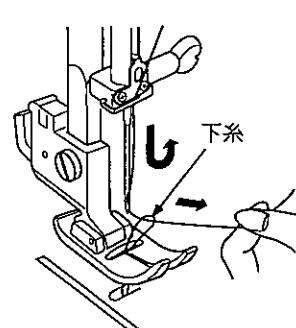
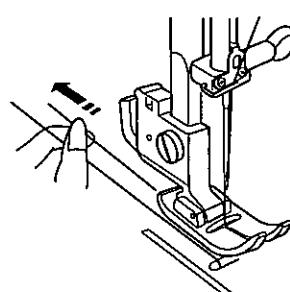
②糸案内板の下を回して右から左に掛け上に引きあげます。

③はずみ車を手前に回し、天びんを一番上にあげます。糸を天びんに右から後ろを回して手前に出し、まっすぐにおろします。

④針棒糸掛けに左から掛けます。

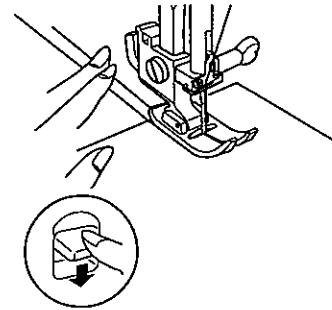
★⑤糸通しを使って針に糸を通します。

★糸通しの使い方

①針を一番上にあげてつまみを止まるまでいっぱいに引き下げます。

②つまみを矢印方向へ回してフックを針穴に入れます。糸を左側からガイドとフックに掛けます。

③つまみを矢印方向へ回して糸が輪になって出てきたらつまみを押し上げ糸の輪を引き上げます。

④針穴から端を引き出します。

★下糸の引き上げ方

①押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

②はずみ車を手で回し上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて約 10cm くらい出します。

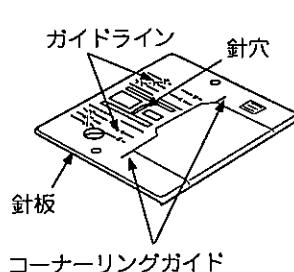
●直線ぬい

※模様は、ぬい目のあらさが異なる３種類があります。

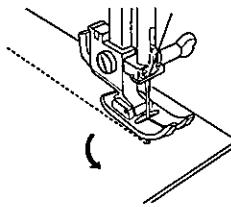
★ぬい始め

糸と布を押さえ､はずみ車を手前に回し､ぬい始めの位置に針を刺します。
押さえ上げをさげて､ガイドラインに合わせてぬい始めます。
※ぬい始めのほつれ止めは、
返しぬいレバーを使います。

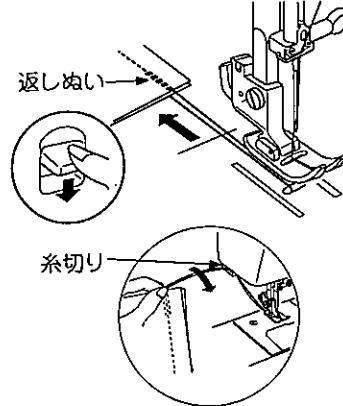
★針板ガイドラインの利用

ガイドライン・・布端を合わせます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく (cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

※数字は、針穴中央からガイドラインまでの距離です。

コーナーリングガイド・・
布端がガイドのところにきたらミシンを止め、針を布に刺し押さえをあげ、布を回転させます。
(針穴から 1.6cm の位置です。)

★ぬい方向の変更

ミシンを止め、針を布に刺し、押さえ上げをあげます。
針を刺したまま、布を回して方向をかえます。

★ぬいおわり

返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。
押さえ上げをあげて、布を向こう側に引き出します。

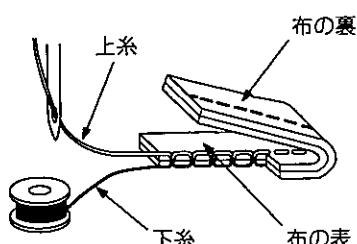
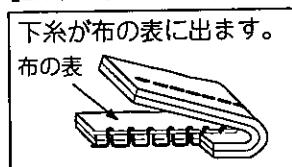
【糸切り】
布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

●直線三重ぬい

伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

●糸調子の調節

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルを回して調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり布にしわがよったり、糸が切れたりします。

【正しい糸調子】・・・上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。

【上糸が強い場合】

糸調子を弱めます。

指示線に合わせます。

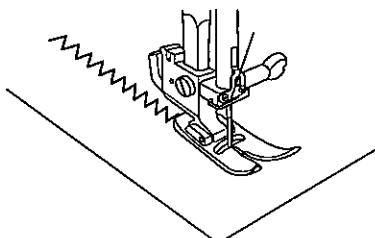
【上糸が弱い場合】

糸調子を強めます。

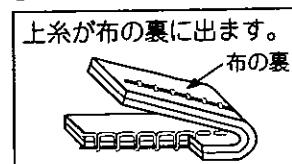
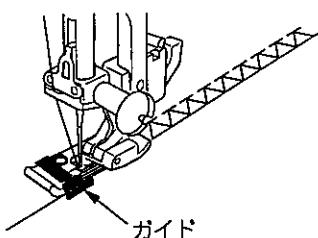
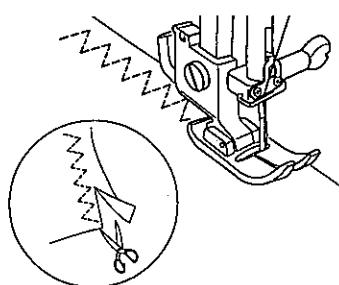
●ジグザグぬい

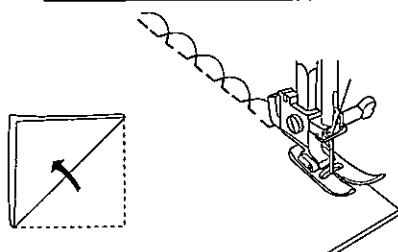
セットの目安　模様　幅 (大) (中) (小)

押さえ　基本押さえ　糸調子　2～5

※模様は、ジグザグ幅が異なる (大) (中) (小) 3種類があります。

伸縮性のある布 (ニット、ジャージー、トリコットなど) には､接着芯を貼るときれいにぬえます。

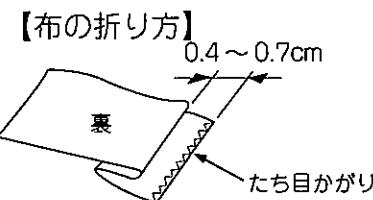
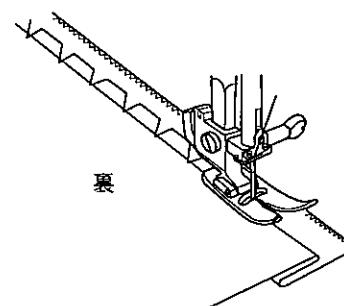
●ジグザグぬいたち目かがり

布端のほつれ止めとして、広く利用します。
布端をたち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。
※ジグザグ模様のときは、
幅 (大) を使用します。

●トリコットぬいたち目かがり

ほつれやすい布や、伸縮性のある布のほつれ止め布端の反り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

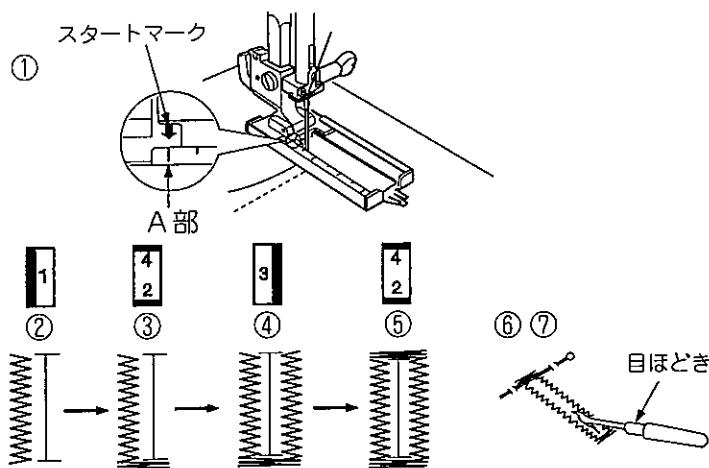
●シェルタック

①布をバイヤスに二つ折りにします。
②針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

※糸調子は、試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調節します。

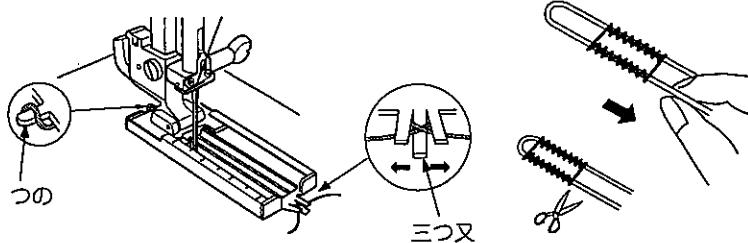
●くけぬい（まつりぬい）

【布の折り方】

【ぬい】

①針がいちばん左にきたとき、わずかに折り山を刺すように布をおき押さえをさげてスタートします。
スピードコントロールつまみは「おそい」にします。

②ぬいおわったら布を広げます。

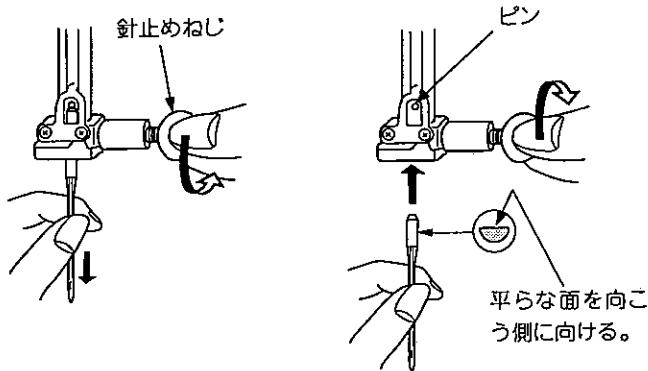
●ボタンホール

※ぬうものと同じ布で試しぬいをしてください。
※伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ってください。

① 模様 1 を選びます。上糸を押さえの穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。押さえを手前に引きスタートマークをA部に合わせます。
② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをおろしてミシンをスタートし必要な長さまでぬってミシンを止めます。
③ 針をあげて模様 4/2 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいミシンを止めます。
④ 針をあげて模様 3 を選びます。左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。
⑤ 針をあげて模様 4/2 を選びます。かんぬきを5針くらいぬいます。
⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10cmくらい残して切ります。
上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
⑦ かんぬきの内側にまち針を刺し、目ほどきでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール

① 芯糸の輪を押さえの後ろ側にあるつのに掛け、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又に挟みます。
② ボタンホール手順と同じようにぬいます。
③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

●針のとりあつかい

★針のとりかえ方

⚠ 針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

①針止めねじを手前に１〜２回まわしてゆるめ、針をはずします。

②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット ウール 化繊布	絹　糸８０番〜１００番 綿　糸８０番〜１００番 化繊糸８０番〜１００番	9番〜１１番
普通の布	普通木綿 化繊布 薄手ジャージー 一般ウール	絹　糸５０番 綿　糸６０番〜８０番 化繊糸５０番〜８０番	１１番〜１４番
		綿　糸５０番	１４番
厚い布	デニム ジャージー コート地 キルティング	絹　糸５０番 綿　糸４０番〜５０番 化繊糸４０番〜５０番	１４番〜１６番
		絹　糸３０番 綿　糸３０番	１６番

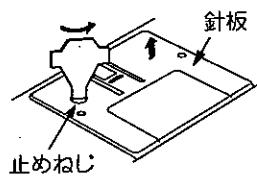
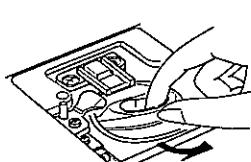
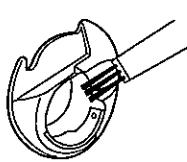
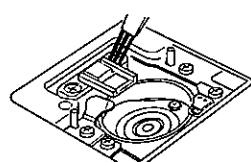
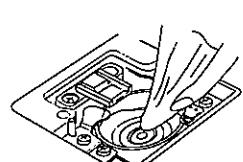
※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。

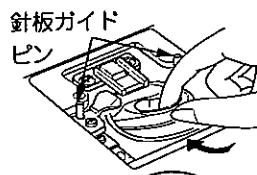
※ 原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。

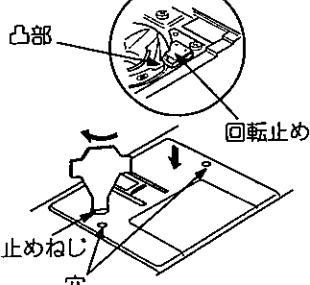
※ 伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャノメブルー針（別売）を使用すると効果があります。
（市販ＳＰ針も同様の効果があります。）

●ミシンのお手入れ

お手入れのときは必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。

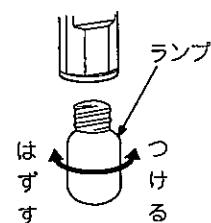
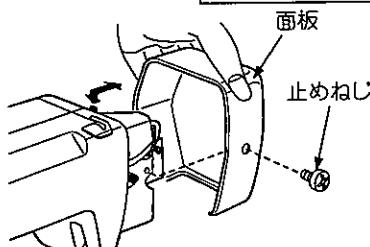
★かまと送り歯の掃除

①針と押さえをはずします。針板止めねじをはずして、針板をはずします。

②ボビンをとり出し、内がまの手前を上に引きながらはずします。

③内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

④送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。

⑤外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

★内がまと針板の組みつけ

①内がまを差し込みます。

②内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

③ボビンを入れ、２箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ針板をとりつけます。

④止めねじをしめます。

★ランプの交換

電源スイッチを切ってください。
ランプが冷えてから交換してください。

【とりはずし】

①止めねじをはずして、面板をはずします。

②ランプを左に回して、はずします。

【とりつけ】

①ランプを右に回して、とりつけます。

②止めねじで面板をとりつけます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	1　上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。 2　上糸調子が強すぎる。 3　針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4　針のつけ方がまちがっている。 5　ぬい始めに、上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6　針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。	上糸を正しく掛け直す。 糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。
下糸が切れる。	1　下糸の通し方が、まちがっている。 2　内がまの中に、ごみがたまっている。 3　ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	正しく通し直す。 内がまの掃除をする。 ボビンを交換する。
針がおれる。	1　針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。 2　針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3　針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルを回した。 4　布にくらべて針が細すぎる。	針を交換する。 針止めねじをしっかりしめる。 針をあげてからダイヤルを回す。 針を交換する。
ぬい目がとぶ。	1　針のつけ方がまちがっているか、針が曲がっている。 2　布に対して、針と糸があっていない。 3　伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針（市販ＳＰ針）を使っていない。 4　上糸のかけ方がまちがっている。	針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。（別売） 上糸を正しく掛け直す。
ぬい目がしわになる。	1　上糸調子があっていない。 2　上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3　布にくらべて針が太すぎる。	糸調子ダイヤルを調節する。 糸を正しく掛け直す。 針を交換する。
ミシンがまわらない。	1　コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2　かまに、糸やごみがたまっている。 3　糸巻き軸が、下糸を巻いたあと元に戻っていない、または、はずみ車が元に戻っていない。（糸巻き状態になっている）	正しく差し込む。 かまの掃除をする。 糸巻き軸を戻す、または、はずみ車を元に戻す。

修理サービスのご案内

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
● 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後８年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

● 取扱説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後でも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
1）保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
2）浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
3）お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
4）お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5）職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。

●長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
●有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

仕	様
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	55W / ランプ 12W
外形寸法	幅35.3cmX奥行15.9cmX高さ26.5cm
重　　量	5.5kg
使用針	家庭用　HA X 1
縫速度	毎分650回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

お客様の相談窓口

お問い合わせのある場合には、下記にお申し付けください。

蛇の目ミシン工業株式会社
〒104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1
TEL. 03-3277-2468

660-800-138